

# 新聞新報

2005年(平成17年)10月20日 木曜日

## 茨城震度5弱

19日午後8時44分ごろ、

茨城県沖を震源とする地震があり、茨城県鉾田市で震度5弱を記録したほか、関東、東北地方の広い範囲で震度4を観測した。気象庁によると、震源の深さは約48キロ、マグニチュードは6

・3と推定される。

この地震の影響で、J R東北新幹線は、小山那須塩原間で約5分間、運転を見合わせた。成田空港は点検のため、滑走路を一時閉鎖した。鉾田市では、女性(78)がベッドから落ち、顔に軽傷。千葉県浦安市でも女性(63)が自宅で腰を打ち

手当てを受けた。

茨城県東海村では、日本原子力研究開発機構東海村研究開発センターの研究用原子炉「JRR-3」(出力2万キロワット)が自動停止した。同機構によると、作業員や外部の環境への影響はなく、午後10時5分に再起動した。

震度3以上の主な地域は次の通り。  
▽震度4 茨城県水戸市、福島県郡山市、栃木県益子町、千葉県佐原市、旭市

▽震度3

茨城県常陸太田市、ひたちなか市、福島県福島市、白河市、栃木県日光市、今市市、千葉県銚子市、東金市、埼玉県さいたま市、熊谷市、東京都千代田区、中央区、神奈川県横浜市、川崎市、群馬県前橋市、沼田市、宮城県仙台市、石巻市、山形県村山市、南陽市、新潟県刈羽村、山梨県忍野村

### ◆地震揺れやすさマップ

内閣府は19日、地震の際の揺れやすさを1キ四方ごとに示した地図「表層地盤のゆれやすさ全国マップ」を公開した。関東、大阪、濃尾などの平野部が揺れやすかった。

地図は、掘削などによって調べた各地の地盤データを中央防災会議が集め、そのデータを基に作られた。地震の大きさや震源からの距離が同じでも、表層の地盤が軟らかい地域は、硬い地域より激しく揺れ、震度が1.5以上大きくなることもある。

内閣府は「特に揺れやすい地域の住民に防災意識を高めてもらいたい」と、より詳細なマップを作るよう自治体に働きかけていく。地図は内閣府のホームページ(<http://www.iousai.go.jp/oshirase/n17/yureyasusa/index.html>)で見ることが